

情報公開文書

1. 研究課題名

造血器腫瘍の男性患者に対する妊孕性温存支援の様相と課題

2. 試料・情報

(1) 利用目的

近年、がんの治療成績の向上とともにがんサバイバーシップの概念が広く認識され、治療後においても高い生活の質を保ち、より豊かな人生を追求することに焦点があてられるようになりました。血液内科病棟には妊孕性(妊娠するために必要な能力のこと)の低下を来す化学療法、骨髄移植、放射線療法を行う患者さんが多く入院されます。そのような患者さんに対して妊孕性温存支援を行ってまいりました。今回、妊孕性温存支援の現状を分析し、今後の体制づくりにつなげていきたいと考えています。研究期間は承認日から2024年2月10日までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は2020年4月から2023年3月の間に造血器腫瘍に対して妊孕性低下を来す治療を受けられた18歳から49歳の方の電子カルテの診療記録を利用して行います。利用する情報は疾患、年齢、治療方法、パートナーの有無、パートナーの年齢、子供の有無などで、利用を開始するのは本研究が承認された日以降です。

収集した情報は個人が特定されないように情報を処理し、別のファイルにそれぞれパスワードをかけ、それぞれのファイルからは個人が特定できないようにします。仮に第三者がファイルを見てもどなたの情報化は一切わからない形で使用します。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 11A病棟 辻 周一郎

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター
〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22
TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604
担当 : 11A病棟 辻周一郎